

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鶴ヶ峰もえぎ本部（単位3：きぼう）			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 28日 ~ 2025年 12月 8日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年 11月 28日 ~ 2025年 12月 8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 10日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・就労に向けての活動を導入している ・利用者のスキルアップを意識した活動	・パソコンを使用しタイピングの練習 利用がマンネリ化しないように興味がある文章を選んで文字の入力し正確性を確認、比較している。	・簡単なデータ入力に挑戦 ・ソフトスキルの強化 (コミュニケーション・ストレス対処など)
2	・子どもたちが意見を出し合い、活動を決定する「こども会議」を実施。 ・主体性や協調性を育む仕組みがある。	・会議に参加している利用者が全員意見が出せるようにしている。 ・司会も利用者が率先して行う。 ・意見が出た活動に関しては投票箱を設置して会議に参加出来なかった利用者の意見も反映出来るように心がけている。	・活動内容だけでなく「施設のルール」「地域交流」など幅広いテーマへの取り組み。 ・活動後の振り返りを図り、PDCAサイクルを体験する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・日によっては職員が少ないと感じことがある。	・送迎時間の偏りなど一時的に職員が少ない。 ・職員の体調管理 ・業務分担の偏り	・ボランティア、ドライバーなど活動補助を担ってもらう。 ・業務分担の明確化を図り偏りが起らないようにする。
2	・職員の研修が少ない。	・日常業務が忙しく、研修に参加する余裕がない。 ・外部研修やオンライン研修の情報収集が十分でない。	・動画研修を導入し、隙間時間で学べる環境を整備。 ・法定研修+スキルアップ研修を年間計画に組み込み、事前に日程を確保。 ・厚労省や福祉系団体が提供する無料・低価格の研修を活用。
3	・保護者会の開催	・日常業務が多く、保護者会の企画・準備に時間を割けない。 ・保護者の勤務時間や家庭の事情で、参加しやすい時間帯の設定が難しい。	・年間スケジュールに保護者会を組み込み、早めに告知。 ・「子どもの活動動画」「写真スライド」など、視覚的に楽しい要素を追加。テーマ設定を検討する。